

会議録

会議の名称	令和5年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和5年11月2日（木） 午後5時から午後7時
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：（対面）濱崎副委員長、笠原委員、青木委員、遠野委員、森委員、 亀田委員 （オンライン）新藤委員長、中野委員 （欠席）藤井委員、中山委員 事務局：文化振興課 堀課長、文化振興課文化振興係 山本係長、文化振興課文化振興係 小菅主事
議題	1 「令和5年度施策・事業評価(令和4年度分)」調査結果について 2 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和5年度施策・事業評価(令和4年度分)」調査表に関する文化芸術振興推進委員会からの課題①に対する総合評価コメント（案） 資料2 3点の課題解決に向けた重点項目の考え方 資料3 【課題②抜粋版】西東京市第2期文化芸術振興計画「令和5年度施策・事業評価(令和4年度)」調査表 資料4 【課題③抜粋版】西東京市第2期文化芸術振興計画「令和5年度施策・事業評価(令和4年度)」調査表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、新藤委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる参加も可能としていることを説明。 ・事務局にて「第3回文化芸術振興推進委員会会議録（案）」を作成し提示。委員より異論がなかったため、正式な会議録とすることで全会一致。 <p>2 【議題1】「令和5年度施策・事業評価(令和4年度分)」調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて、第3回文化芸術推進委員会の資料の修正点について説明。 ・第3回文化芸術振興推進委員会において、「【課題①抜粋版】西東京市第2期文化芸術振興計画「令和5年度施策・事業評価(令和4年度)」調査表」における各所管課からの回答内容等について、幾つかの確認事項が出ていたため、確認事項について事務局より回答。 	

- ・事務局にて、資料1を用いて第2期文化芸術振興計画にある文化芸術振興への課題のうち、課題①「市民に身近な鑑賞機会のあり方」に対する総合評価コメント（案）について説明。委員より異論がなかったため、課題①に対する総合評価コメントとすることで全会一致。
- ・事務局にて、資料2から資料4を用いて「令和5年度施策・事業評価(令和4年度分)」調査結果の評価方法について説明。

○委員長

- ・資料2から資料4に基づき、本日の委員会では、第2期文化芸術振興計画にある文化芸術振興への課題のうち、「②文化芸術活動の担い手を広げる取組の推進」及び「③文化芸術を通じたまちづくりへの展開」への取組状況に対する総合評価に向けて、委員より意見をいただくこととする。

■課題2「文化芸術の担い手を広げる取組の推進」

【基本方針3 施策1「自立的な文化芸術活動の推進」について】

○委員長：

- ・基本方針3 施策1「自立的な文化芸術活動の推進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員

- ・取組番号【3-1-6】「活動者が意見交換できる場の提供」のうち、児童青少年課が主な実績に対して自己評価をB評価としている理由は何か。

○事務局

- ・所管課に確認する。

○委員長：

- ・取組番号【3-1-6】「活動者が意見交換できる場の提供」のうち、児童青少年課の主な実績に「中高生特化館のパンフレットを作成した」と記載されているが、どのような施設なのか。

○事務局：

- ・中学・高校生年代を利用の中心と位置付けた特化型児童館のことで、月曜日から金曜日は、中学・高校生年代向けに夜間会館も実施している。

○副委員長：

- ・取組番号【3-1-6】「活動者が意見交換できる場の提供」のうち、公民館の主な実績に「公民館まつりの実施」について記載されているが、谷戸公民館が記載されていない。谷戸公民館では実施しなかったとの認識で良いか。

○委員：

- ・谷戸公民館では、実行委員会形式で「谷戸まつり」を実施している。谷戸公民館が主催ではないため、実績に記載していないのではないか。

○委員：

- ・実行委員会形式で実施しているのであれば、記載内容を工夫して記載すべきではないか。

○委員：

・他の公民館で実施している公民館まっりは、実行委員会形式ではないのか。

○委員：

・実行委員会形式で実施しているが、公民館の主催事業として位置付けていると聞いている。

○委員長

・西東京市は多くの公民館事業を実施しており盛んだと感じている。そのことが分かるように、実績も工夫して記載すべきではないか。

【基本方針3 施策3「文化芸術を支える人材の育成と活用」について】

○委員長：

・基本方針3 施策3「文化芸術を支える人材の育成と活用」について、委員より意見をいただきたい。

○委員長：

・取組番号【3-3-1】「文化ボランティアの育成」のうち、社会教育課が主な実績に対して自己評価をB評価としている理由は何か。

○委員：

・したのやムラのムラびとになるための講座等は実施したものの、活動の場が不十分であったと認識しているため、B評価とした。今年度については、前年度の課題を踏まえ、ムラびとの育成とともに活躍する場の機会を広げている。

○委員：

・取組番号【3-3-2】「文化ボランティアの活用」のうち、社会教育の主な実績に「下野谷遺跡を守るため、除草イベントを開催した」と記載されているが、参加人数が記載されていない。参加人数がわかる方が評価しやすい。

○事務局：

・担当課に修正を依頼する。

○委員：

・各課の自己評価について、評価の基準はあるのか。

○事務局：

・各所管課が、主な実績に基づき自己評価を行なっているため絶対評価である。自己評価の基準として、目標を達成できた場合はA評価、一部目標を達成できた場合はB評価、目標を達成できなかった場合はC評価とすることを各課に示している。なお、所管毎に前年度に「今後の展開（課題・予定）」を設定しているため、そこで設定した内容が、翌年度の目標となる。

○委員長：

・【3-3-2】「文化ボランティアの活用」のうち、文化振興課の主な実績に「市民ボランティア延べ588人が参加した」と記載されているが、「対話による鑑賞」事業を市内小学校と市内のイベントを何回実施したのか。

○事務局：

・市内小学校10校及び市内のイベント等を活用した地域活動を2回実施したほか、市民向けアーティストとのワークショップを1回実施した。

【基本方針3 施策4「多様な文化芸術の担い手を広げる取組の推進」について】

○委員長：

- ・基本方針3 施策4「多様な文化芸術の担い手を広げる取組の推進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・【3-4-1】「文化芸術を活用した地域の活性化」のうち、文化振興課の主な実績に記載されている「PR in アスタ」とは何か。

○副委員長：

- ・「PR in アスタ」とは、西東京市民文化祭のPRイベントである。西東京市民文化祭開催前にアスタビル2階センターコートを会場として、参加団体による作品展示及びステージ発表を行っている。

○委員：

- ・【3-4-1】「文化芸術を活用した地域の活性化」のうち、文化振興課の自己評価がA評価となっているが、主な実績を見る限り、西東京市民まつりは休止となっているのに、A評価としているのはなぜか。

○事務局：

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった事業等については、事業を中止するまでの準備や中止を決定するまでの過程等を踏まえ総合的に評価することとしている。西東京市民まつり実行委員会と新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた実施方法等について協議し、実施の可否を検討したことからA評価としている。

【基本方針5 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」について】

○委員長：

- ・基本方針5 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・【5-3-2】「市内大学等の連携の充実」及び【5-3-3】「教育機関とのイベントの連携」について、所管課の主な実績を見る限り、文化芸術に関係していない実績の記載があるのではないか。

○委員長：

- ・各所管課が記載する主な実績は、取組内容と合致した事業を各所管課の判断により記載している認識で良いか。

○事務局：

- ・その通りである。

○委員：

- ・【5-3-4】「市内事業者等との連携の充実」のうち、産業振興課の自己評価がC評価となっているが、事業を中止するまでの準備や中止を決定するまでの過程等を踏まえ評価したとの認識で良いか。

○事務局：

- ・産業振興課の主な実績に記載のある田無神社例大祭については、中止とするまでの経

過で評価につながる動きがなかったため、C評価としたと聞いている。

○委員：

- ・【5-3-3】「教育機関とのイベントの連携」のうち、社会教育課の主な実績に「実施には市民や学生の協力を得た」と記載されているが、市民や学生だけでなく、所属や年齢等について記載されている方が評価しやすい。

【基本方針1 施策4「市民に届く効果的な文化情報の提供」について】

○委員長：

- ・基本方針1 施策4「市民に届く効果的な文化情報の提供」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・現在、調査票の中では「Twitter」となっているが、アプリケーションソフトウェアの名称は「X」に変更されている。今後どのように表記するのか決めた方が良い。

○委員：

- ・次期計画策定のために前年度に実施した市民アンケート調査では、文化的な鑑賞・体験を促す情報発信手段としては、紙媒体が主流だが、年代によりデジタル媒体を重視する意見もあった。一方で、市内で行われる文化的イベントに参加しなかった理由は「知らなかった」が約4割だった。各所管課がSNSを活用して情報発信に取り組んでいるが、必要な情報が市民に届いていない状況である。市ホームページには、数多くの情報が掲載されているが、その多くが縦割りで掲載されておりわかりにくく、文化芸術事業に関する情報を見つけるのは難しい。

○委員：

- ・情報が数多くありすぎてわからない。市民が簡単に情報にアクセスできる仕組みづくりが必要ではないか。

○事務局：

- ・市ホームページにはイベントカレンダーが存在しているものの、その活用方法に課題もあると言われている。なお、成功事例として、当課の取組を紹介したい。文化振興課では、姉妹都市・友好都市とオンラインでの交流事業を実施している。昨年度に事業を実施する際、対象者である小学生に向け、全児童にチラシを配布したところ、定員の10倍近い申し込みがあった。ターゲットを絞り効果的に周知を図ることの大切さを再確認した。

○委員長：

- ・事業が終了してから情報を知るのではなく、事業が開始する前に知ることができることが大切である。SNSの活用をするのであれば、リツイート機能の活用も必要ではないか。

○委員：

- ・タウン通信に西東京市が職員向けに広報研修を実施し、情報発信力を強化しているとの記事が掲載されていたため期待している。

○委員：

- ・【1-4-8】「保谷こもれびホールにおける情報発信拠点を検討」とあるが、保谷こもれびホールだけではなく、駅等の人が多く通る場所にも拠点を考えるべきではないか。

○委員：

- ・各管課が実施している事業の情報を優先順位付けして取りまとめて、それを発信する担当部署が必要なのではないか。また、文字だけではなくアニメーションの活用も良いのではないか。
- ・市内掲示板に掲示しようとしたが、先約で埋まっており掲示できなかったという声をよく聞く。西武池袋線池袋駅にあるようなデジタルサイネージも情報発信の手法の一つとして活用していくべきではないか。

■課題3「文化芸術を通したまちづくりへの展開」

【基本方針4 施策2「地域の特色となる文化芸術の形成」について】

○委員長：

- ・基本方針4 施策2「地域の特色となる文化芸術の形成」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・令和5年11月3日（金・祝）に下保谷特別緑地保全地区でイベント（保谷のアイ）を実施する。イベントでは、藍染の体験や藍玉生産に関するパネル展示等を行う。本イベントは社会教育課と下保谷の自然と文化を記録する会・高橋家屋敷林保存会の主催で実施する。市民団体が地域の特徴的な文化資源を活用する取組にもなっており、市としても、こうした取組を後押しできると良いと考えている。

○委員長：

- ・【4-2-2】「図書館の地域資料の活用」の図書館の評価の理由について、具体的に記載してほしい。

【基本方針5 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」について】

○委員長：

- ・基本方針5 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・【5-3-2】「市内大学等との連携の充実」のうち、教育指導課の主な実績として記載されているインターンの受け入れについて、どの大学から受け入れたのか。

○事務局：

- ・所管課に確認する。

○委員：

- ・【5-3-2】「市内大学等との連携の充実」のうち、教育企画課の主な実績に「早稲田大学高等学院と連携し「理科・算数だいすき実験教室」を実施した」と記載されているが、どの学部と連携したのか。

・【5-3-2】「市内大学等との連携の充実」となっているが、圏域5市の大学とは連携しているのか。

○委員：

・学部の連携について担当課に確認する。

・【5-3-2】では、市内にある武蔵野大学、早稲田大学、東京大学との連携を図ることをしている。各事業のテーマや内容によって、連携する大学が決まってくるものと認識している。

○委員：

・【5-3-4】「市内事業者等との連携の充実」のうち、産業振興課の主な実績の記載が、【3-4-1】「文化芸術を活用した地域の活性化」にある同課の記載と同じである。取組の内容が異なるため、主な実績は同じとしても、評価の理由や今後の展開の記載は変更すべきである。

【基本方針5 施策2「他分野と結びつけた文化芸術活動・交流の促進」について】

○委員長：

・基本方針5 施策2「他分野と結びつけた文化芸術活動・交流の促進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

・【5-2-1】「各関連分野との連携による文化芸術事業の実施」のうち、文化振興課の主な実績に「パラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会」、「日本の文化体験フェス in 市民文化祭」の記載があり、障害者や外国人が参加している事業を実施している。今後の展開として、この取組をどのように考えているのか。

○事務局：

・文化芸術を通じて自分とは異なるものの見方や考え方に出会い、多様性を認めたり、さまざまな方が参加する機会を生み出すことで、共生社会の実現につなげていきたいと考えている。また、他分野との連携は、文化芸術以外に関心のある層を呼び込むとともに、新たな価値を生み出す可能性や裾野を広げるためにも積極的に展開していきたいと考えている。

○委員：

・【5-2-1】「各関連分野との連携による文化芸術事業の実施」のうち、社会教育課の主な実績に記載されている、まちなか先生講座は小学校の先生が講座を実施しているのか。

・同実績に記載されている「しーた」、「のーや」などを活用した商品の販売はどのくらい効果があったのか。

○委員：

・まちなか先生は、地域全体で子ども達の成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指し、市の専門職員である学芸員や司書、公民館を拠点として地域で活動する団体が講師役として、小・中学校教員と一緒に授業を行うものである。

・「しーた」、「のーや」などを活用した商品については、田無駅のまちテナ西東京に外から見えるように配置して販売しており、販売により「しーた」、「のーや」の認知度が上がった。

【基本方針5 施策1「障害者や外国人など多様性への理解と交流の促進」について】

○委員長：

- ・基本方針5 施策1「障害者や外国人など多様性への理解と交流の促進」について、委員より意見をいただきたい。

○委員長：

- ・【5-1-1】「多様な市民が交流できるイベントや事業の実施」について、コロナ禍においても各所管課で多数の事業を実施したことに驚いている。数多くある事業が市民に届いていない課題もあることから、多くの市民に届くような仕組みづくりが必要ではないか。

○委員：

- ・【5-1-2】「市民や団体等による共生社会を支える活動の推進」のうち、文化振興課の主な実績に「NPO法人に対して、支援を行った」と記載されているが、どのような支援を行ったのか。

○事務局：

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する助言を行ったほか、会場の確保や広報の支援を行った。

○委員：

- ・【5-1-1】「多様な市民が交流できるイベントや事業の実施」のうち、児童青少年課の主な実績にある事業の実施方法について具体的に記載してほしい。また、児童館のバリアフリー化が進んでいないことは課題であると感じる。

3 **【議題2】その他について**

- ・事務局にて、第5回文化芸術振興推進委員会の予定（令和6年1月中旬開催）及び内容（パブリックコメント等の結果の共有、西東京市第3期文化芸術振興計画（案）に関する意見聴取）について説明。

4 閉会

以上